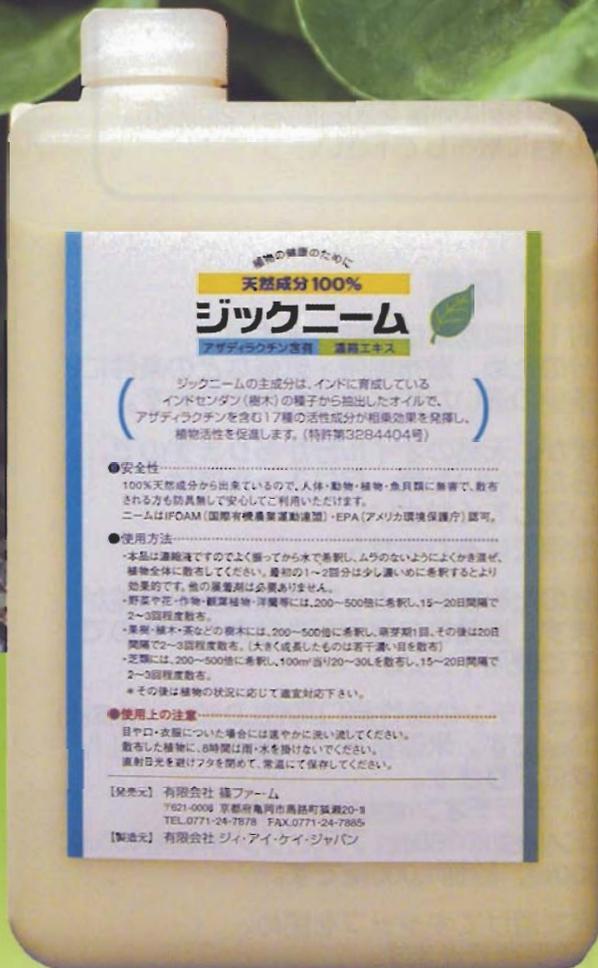


ジックニーム

天然成分
100%

植物の健康のために



ジックニームの主成分は、インドに生育している
インドセンダン(樹木)の種子から抽出したオイル
で、アザディラクチンを含む17種の活性成分が
相乗効果を発揮し、植物を活性化します。
人体・動物・植物・魚介類に無害なので、防具なし
で安心して散布できます。

■ 安全性

- ◇ ニームはIFOMA(国際有機農業運動連盟)が病害虫防除のために使用することを認めています。
- ◇ ニームはEPA(アメリカ環境保護庁)に1995年12月13日(第239号)に認可されています。
- ◇ ジックニームは日本の環境省・内閣府の定める重金類・PCB等の規制を全てクリアしています。

■ 特長

- ◇ ジックニームは独自の製法・効果が認められている特許製品です。
- ◇ ミネラルが多く含まれている、植物活性剤・土壌改良剤です。
- ◇ ニームに含まれる17種類の成分が相乗効果を発揮します。
- ◇ ミミズ・ハチ・ミツバチには害がありません。

ジックニーム

植物の健康のために

【使用方法】下記を目安にお使い頂き、状況に合わせて加減してください。

希釈の目安		散布回数 / 特記事項
◆ 野菜類 果菜類・葉菜類・根菜類など	200~500倍	発芽時に1回、その後15~20日間隔で2回散布します。 (但し、甘藍など結球するものは、定植時と結球間際に各1回散布)
◆ 花き類 花草・観葉植物・切花・サボテンなど	200~500倍	発芽時や成長初期に1回、 その後は15~20日間隔で2回程度散布します。
◆ 樹木類 果実類・植木類・盆栽・茶など	100~500倍	萌芽時1回、その後は20日間隔で2回散布します。 *果実類は萌芽時と開花直前・着実時・果実の肥大期に各1回散布。 *植木など大きく成長したものは濃い目に散布。
◆ 作物類 稲類・雑穀類・豆類など	200~500倍	播種前にタネを希釈液に浸水(1~2時間)し、成長初期、又は定植時に1回、その後20日間隔で1~2回程度散布します。
◆ 芝類 日本芝・西洋芝など	200~500倍	100㎡当り20~30ℓを散布。その後は同量を20日間隔で2回散布。 *植生密度の濃い品種は多い目に散布してください。

希釈 / 散布

- ・初回は少し濃い目に希釈して散布下さい。
- ・展着剤は不要ですが、散布後8時間は水・雨などで流されないようにしてください。
- ・状況に応じて希釈倍率や散布回数を適宜調整してください。
- ・葉の裏表にまんべんなく散布して下さい。
- ・枕元(土壌)にも散布すると根より吸収されてより効果的です。
- ・他の薬剤との混合使用・併用使用も問題ありません。
- ・農産物(野菜・果実等)は収穫の48時間前(2日前)までに散布を終えてください。光による分解が非常に早いので、長期にわたって残留する恐れがありません。

【商品規格】

サイズ	10ℓ	5ℓ	1ℓ	500ml
入数	1本	2本	10本	20本

特記事項 / 保管

- ・原液は約1年間効果は持続しますが、天然成分のため、散布場所・気候などの条件によって多少の違いが生じる場合があります。
- ・無害ですが、天然オイル分がありますので、手やからだに付いた時、目に入ったときは水で洗い流してください。また飲用ではありません。
- ・天然成分のため植物によって効果に多少の差が見られます。遅効性の事例が多数ありますので、継続してご使用下さい。
- ・アザディラクチンの急性経口毒性LD50(mg/体重kg)は15,000mgです。米国基準では最低毒性level. IVのランクに入ります。
ちなみに、パラチオン(殺虫剤)9~13mg、オルトラン(殺虫剤)360mg、アスピリン(解熱剤)400mg、食塩3,000mg、砂糖9,000mgです。
- ・直射日光を避けてキャップを閉め、常温で1年保存できます。

<問い合わせ先>

「ジックニーム研究会」
☎0120-882-443

<販売代理店 / 特約店>

<製造元>

有限会社 ジィ・アイ・ケイ・ジャパン